

2026

Tokushima College
of
Medical Sciences
and
Welfare

令和8年度

学生募集要項

理学療法学科

・

作業療法学科

学校法人 勝浦学園

徳島医療福祉専門学校

教育における 3 つの方針（ポリシー）

ディプロマ・ポリシー／カリキュラム・ポリシー／アドミッション・ポリシー

徳島医療福祉専門学校

本校では、養成する人材像及び学科の教育上の目的に基づき、教育上の3つの方針「ディプロマ・ポリシー（養成人材像及び卒業の認定に関する方針）」、「カリキュラム・ポリシー（ディプロマ・ポリシーの達成のための、教育課程の編成及び実施に関する方針）」、「アドミッション・ポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく、入学者受け入れに関する方針）」を定めています。

1. ディプロマ・ポリシー

(1) 養成人材の基本方針

- ① リハビリテーション医療の対象となる人たちに対する「人格尊重」がなければ、良い医療は成り立ちません。「最高の医療は患者のために最善を尽くすことである」との本校の教育理念及び教育目標に基づき、3年制専門学校としての特長を生かし、最短の年限で、リハビリテーション医療を担う専門職としての質の高い理学療法士・作業療法士を養成します。
- ② 理学療法士・作業療法士として必要不可欠な知識や専門的技術及び技能の修得を図るとともに、コミュニケーション能力や協調性などを培うなか、基本的な理学療法・作業療法については独立して実施できることを到達目標とし、即戦力となる実践力ある人材を育成するとともに、高度・多様化する保健医療福祉分野を担う探求心と向上心を備えた人材を育成し、広く社会の医療・福祉に寄与できる人材を育成します。

(2) 卒業の認定に関する基本方針

理学療法士及び作業療法士法並びに理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則を遵守し、学則に定める教育課程における授業科目の単位を取得した者に対し、学則及び卒業に関する規程に従い卒業を認定します。

2. カリキュラム・ポリシー

(1) 両学科共通

厚生労働省による理学療法士・作業療法士養成施設指導要領に基づき、教育課程における教育分野を基礎分野、専門基礎分野、専門分野に区分した教育課程として編成します。また、本校の建学の理念及び教育目標を具現化するため、ディプロマ・ポリシーとの一貫性と整合性を担保した教育課程を編成し、さらに、3年間の教育期間において、過重な負担を強いることなく修得できる精選された教育課程を編成しこれを実施します。

- ① 基礎分野では、科学的・論理的思考力を育て、人間性を磨き、自由で主体的な判断と行動を培うとともに生命倫理、人の尊厳を幅広く理解できることを目標に、人文、社会、自然、外国語（英語）、保健体育の科目を配置します。
- ② 専門基礎分野では、人体の構造と機能及び心身の発達を系統立てて理解できるようにすること、健康、疾病及び障がいについて、その予防と回復過程に関する知識を修得し、理解力、観察力、判断力を培うこと、保健医療福祉の推進のために理学療法士・作業療法士が果たす役割及び地域における関係諸機関との調整及び教育的役割を担う能力の育成を目標にします。
- ③ 各学年に配置した課程は、次学年の課程に段階かつ連続的に展開するものとして編成し、また、本校に設置した教育課程編成委員会の指摘や助言並びに関連業界等のニーズ等を反映した教育課程を実施します。

(2) 学科別

理学療法学科	作業療法学科
①専門分野の学習 理学療法の枠組みと理論を理解し、系統的な理学療法を構築できる能力を修得 ②専門分野の目標 ア 職業倫理を高める態度を養うこと イ 理学療法における評価の枠組みを理解し心身機能と構造の評価に関する知識と技術を修得すること ウ 障がい予防と治療の観点から種々の障がいに必要な知識と技術を修得すること エ 患者及び障がい者の地域における生活を支援していくために必要な知識や技術を修得し、問題解決能力を養うこと オ 社会的ニーズの多様化に対応した臨床的観察力・分析力を養うとともに、治療計画の立案能力・実践力を養うこと カ 学内における臨床演習を行った後に、各障がい、各病期、各年齢層を偏りなく臨床実習を行うこと ③教育課程の編成 略	①専門分野の学習 系統的な作業療法を構築できるよう、作業療法の過程について必要な知識と技術を修得 ②専門分野の目標 ア 職業倫理を高める態度を養うこと イ 作業療法過程における作業療法評価（職業関連評価を含む）の枠組みについての知識と技術を修得すること ウ 保健医療福祉とリハビリテーション医療の観点から、各疾患、各障がいへの作業の適応について知識と技術を修得し、対象者の自立を支援するために必要な問題解決能力を養うこと エ 家庭生活、地域生活、職業関連生活等における作業行動の形成について、各障がい即した地域ケア活動を展開するための能力を養うこと オ 社会的ニーズの多様化に対応した臨床的観察力・分析力を養うとともに、治療計画の立案能力・実践力を養うこと カ 学内における臨床演習を行った後に、各障がい、各病期、各年齢層を偏りなく臨床実習を行うこと ③教育課程の編成 略

3. アドミッション・ポリシー

リハビリテーション医療における理学療法士・作業療法士の役割や業務の概要を理解した上で、本校の建学の理念及び教育目標に賛同し、入学を希望する者の中から、入学後の修学に必要な基礎学力に加え、リハビリテーション医療に対する強い意欲や熱意、コミュニケーション能力、表現力、主体性、協調性などの資質を備えている人に入学の許可を与えます。

令和 8 年度学生募集要項

1. 課程・学科・募集定員・修業年限・取得資格

課 程	学 科	募集定員	修業年限	取 得 資 格
医療専門課程	理学療法学科	40 名（男・女）	3 年（昼間）	理学療法士国家試験受験資格
医療専門課程	作業療法学科	40 名（男・女）	3 年（昼間）	作業療法士国家試験受験資格

2. 入試区分・出願資格

(1) 社会人推薦入試（併願可）〈下記の①～②の条件をすべて満たす者〉

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者，または同等以上の学力を有する者
- ② リハビリテーション医療に対する強い意欲や熱意をもつ者

(2) 公募制推薦入試（併願可）〈下記の①～③の条件をすべて満たす者〉

- ① 令和 8 年 3 月高等学校または中等教育学校卒業見込の者
- ② 調査書評定平均値が 3.0 以上で高等学校または中等教育学校長が推薦する者
- ③ リハビリテーション医療に対する強い意欲や熱意をもつ者

(3) 指定校推薦入試（専願）〈下記の①～④の条件をすべて満たす者〉

- ① 令和 8 年 3 月本校が指定する高等学校または中等教育学校を卒業見込の者
- ② 調査書評定平均値が 3.3 以上で高等学校または中等教育学校長が推薦する者
- ③ リハビリテーション医療に対する強い意欲や熱意をもつ者
- ④ 合格した場合，本校への入学を確約できる者

(4) 一般一次入試（併願可）〈下記の①，②のいずれかの条件を満たす者〉

- ① 令和 8 年 3 月高等学校または中等教育学校卒業見込の者
- ② 高等学校または中等教育学校を卒業した者，または同等以上の学力を有する者

(5) 一般二次入試（併願可）

一般一次入試に同じ

(6) 一般三次入試（併願可）

一般一次入試に同じ

(7) 一般四次入試（併願可）

一般一次入試に同じ

※(7)の入試区分の実施・不実施は，令和 8 年 2 月 27 日(金)までに，本校ホームページ上で公表する。

3. 出願期間・試験日・試験会場等

入試区分	募 集 人 員		出 願 期 間	試 験 日	試験会場
	理学療法学科	作業療法学科			
社会人推薦 公募制推薦 指定校推薦	32名程度	32名程度	令和7年9月8日（月） ～9月29日（月） （消印有効）	令和7年10月5日（日）	本校 高松市 松山市
一般一次	5名程度	5名程度	令和7年10月20日（月） ～11月11日（火） （消印有効）	令和7年11月16日（日）	本校
一般二次	若干名	若干名	令和7年11月17日（月） ～12月9日（火） （消印有効）	令和7年12月14日（日）	本校
一般三次	若干名	若干名	令和8年1月6日（火） ～1月27日（火） （消印有効）	令和8年2月1日（日）	本校
一般四次*	若干名	若干名	令和8年3月2日（月） ～3月13日（金） （必着）	令和8年3月15日（日）	本校

4. 試験科目・試験時間割等

社会人推薦 公募制推薦 指定校推薦	受 付	現代の国語，数学I， 英語コミュニケーションIより1科目		面 接
	9：00～9：20	9：30～10：20		10：35～
一般一次	受 付	現代の国語，数学I， 英語コミュニケーションIより1科目		面 接
	9：00～9：20	9：30～10：20		10：35～
一般二次	受 付	小 論 文	面 接	
	9：00～9：20	9：30～10：50	11：05～	
一般三次	受 付	小 論 文	面 接	
	9：00～9：20	9：30～10：50	11：05～	
一般四次*	受 付	面 接	※一般四次入試の実施・不実施は，令和8年 2月27日（金）までに，本校ホームページ 上で公表する。	
	9：00～9：20	9：30～		

5. 出願手続

	項 目	出願書類の提出要領	社会人 推薦	公募制 推薦	指定校 推薦	一般 一次・二次・三次・四次
1	入 学 願 書	カラー写真を貼り付ける（裏面に氏名を明記）	○	○	○	○
2	写真票(A)・受験票(B)	写真票にはカラー写真を貼り付ける（裏面に氏名を明記）	○	○	○	○
3	推 薦 書	自己推薦書（自書）	○			
		高等学校長の推薦書		○	○	
4	調 査 書 成績証明書等	高等学校の調査書（厳封）		○	○	
		・高等学校の調査書（厳封） 発行不可の場合は卒業証明書 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（見込の者を含む）は「合格証明書」（合格見込証明書）ならびに合格成績証明書（厳封） ・大学卒業者は大学の成績証明書（厳封）	○			○
5	入学確約書	入学確約書（自書）			○	
6	受験票送付用封筒（白色）	志願者の住所・氏名を記入の上 <u>410円分</u> の切手を貼り付ける（注5）	○	○	○	○
7	合否通知書送付用封筒（黄色）	志願者の住所・氏名を記入の上 <u>410円分</u> の切手を貼り付ける（注5）	○	○	○	○
8	検 定 料	郵便局で本校所定の払込取扱票にて 25,000 円を払い込む（注6）	○	○	○	○

- 〈注〉 (1) 再受験（下記 8. または 9.）で出願する場合については、出願手続には上記 4 の調査書・成績証明書等の提出は必要ありません。
- (2) 検定料及び出願書類は理由の如何を問わず返還できません。
- (3) 入学願書等出願書類用紙が不足の場合は入試事務局へ請求してください。
- (4) 出願書類送付用封筒（緑色）に貼り付ける切手料金については、入試区分により異なるので郵便局で確認してください。
- (5) 郵便料金が改定されている場合がありますので、切手の金額については郵便局で確認してください。
- (6) 受領証は各自で保管してください。本校へ送付する必要はありません。

6. 選考方法

選考は、学科試験、小論文、面接、推薦書、調査書または成績証明書等を総合的に審査して行います。

7. 合格発表

試験日の翌日から 7 日以内に受験者全員に合否の通知を行います。電話による問い合わせには応じることができません。合格者には別途入学手続き書類を送付しますので、所定の期日までに手続きをしてください。（下記 12. 参照）

8. 不合格となった場合の再受験について

各入試区分の入試に不合格となった者は、その後に実施される入試区分の入試を受験することができます。その場合は、あらためて出願期間内に願書手続きをしてください。

9. 第2志望の学科に合格となった場合の再受験について

本校では第1志望でない学科を第2志望の学科と見なしています。(指定校推薦は除く)

第2志望の学科に合格した者が、入学手続き(下記12. 参照)を完了後、その後の入試で再度第1志望の学科を受験することができます。(第1志望の学科に合格し入学手続きを完了した者が、他の学科を再受験することはできません。)この場合、まず入試事務局へ申し出てください。「再受験願」を送付します。「再受験願」を記入後、次の書類を当該入試の出願期間内に提出してください。なお、再受験により第1志望の学科に合格すれば、既に入金した入学金・授業料は、そのまま入学手続きに生かされます。

上記「5. 出願手続」の表中の「1 入学願書」,「2 写真票(A)・受験票(B)」,「6 受験票送付用封筒(白色)」,「7 可否通知書送付用封筒(黄色)」,「8 検定料(25,000円)」,「再受験願(上記)」

10. 出願書類提出先及び問い合わせ先

徳島医療福祉専門学校入試事務局

〒771-4307 徳島県勝浦郡勝浦町大字三溪字平128番地の1

TEL 0885-42-4810 FAX 0885-42-4815

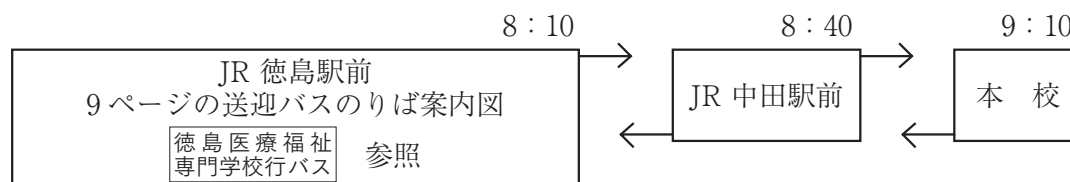
(持参の場合、土・日・祝日を除く日の午前9時から午後5時まで)

11. 受験の際の宿泊・送迎バスについて

(1) 宿泊について

必要があれば各自で手配してください。

(2) 推薦入試(本校会場)の当日は、送迎バス(無料)を運行します。乗車希望者は、10月2日(木)、午後3時までに入試事務局(0885-42-4810)へ申し込んでください。



※復路の発車時刻は、当日案内します。

12. 入学手続き

入学試験に合格した者は、送付された入学手続き案内書に従い、下記の(1)(2)の手続きを行ってください。この手続きを完了した者に対し、入学の許可を与えるものとします。

(1) 「入学金」及び「1年次前期分学費」を手続き書類に同封されている振込用紙を使用して払い込んでください。

入学金	授業料(前期)	実験実習費(前期)	施設充実費(前期)	手続き合計
400,000円	250,000円	100,000円	150,000円	900,000円

(2) 手続き書類を所定の期日(入学手続き案内書に記載)までに提出してください。

13. 入学後に必要な学費・校外臨床実習費

1年次後期分の学費・校外臨床実習費は10月末日までに納入いただくことになっています。

なお、2年次以後の学費・校外臨床実習費は前期分4月末日まで、後期分は10月末日までに納入をお願いします。

〈学費〉

	授業料	実験実習費	施設充実費	学費合計
1 年次後期	250,000 円	100,000 円	150,000 円	500,000 円
2 年次前期	250,000 円	100,000 円	150,000 円	500,000 円
2 年次後期	250,000 円	100,000 円	150,000 円	500,000 円
3 年次前期	250,000 円	100,000 円	150,000 円	500,000 円
3 年次後期	250,000 円	100,000 円	150,000 円	500,000 円

〈校外臨床実習費〉

	校外臨床実習費
1 年次後期	20,000 円
2 年次前期	50,000 円
2 年次後期	50,000 円
3 年次前期	180,000 円
合 計	300,000 円

14. その他の諸経費

	教科書・辞書 他テキスト代等	白衣・実習靴	そ の 他		
			後援会入会金	後援会年会費	同窓会入会金
入学時	130,000 円	約 20,000 円	5,000 円	10,000 円	5,000 円
2 年次	135,000 円	—	—	10,000 円	—
3 年次	—	—	—	10,000 円	—

15. 入学辞退

入学手続きを完了し、入学の許可を与えられた者が、令和 8 年 3 月 31 日（火）までに入学辞退を申し出た場合、入学手続き時に払い込まれた学費等は、入学金を除いてすべて返還します。

16. 本校独自の学生支援制度

学年特待生奨学金

本校では、入学後、学業に精励し成績優秀かつ品行方正な者を学年特待生として採用し、奨学金を給付します。

〔金額・給付方法〕

奨学金は 1 名につき 15 万円とし、対象年度の学費（後期施設充実費）の減免をもって行います。

〔採用人数〕

理学療法学科 2 年生 3 名、3 年生 2 名

作業療法学科 2 年生 3 名、3 年生 2 名

〔選考・発表〕

両学科とも前年度（2 年生は 1 年生時、3 年生は 2 年生時）の成績優秀者の中から選考し、対象年度の 4 月に発表します。（申請不要）

17. その他の学生支援制度

【高等教育の修学支援新制度（授業料等減免）】

本校は、国による「高等教育の修学支援新制度」の対象校として認定を受けており、支援措置の対象となる住民税非課税世帯（第Ⅰ区分）、それに準ずる世帯（第Ⅱ・Ⅲ区分）および多子世帯（第Ⅳ区分）である学生に対して、授業料等減免の支援を行っています。

(1) 支援の種類

区 分	入学金減免額		授業料減免額	
	(多子世帯以外)	(多子世帯)	(多子世帯以外)	(多子世帯)
第Ⅰ区分	160,000円	160,000円	500,000円	500,000円
第Ⅱ区分	106,700円		333,400円	
第Ⅲ区分	53,400円		166,700円	
第Ⅳ区分	—		—	

※年度中に区分が変わった場合は、減免額が変更となります。

※入学金の減免は、新入生のみ対象です（入学時のみ）。

(2) 支援方法・支援時期

授業料等減免

入学後、所定の時期に学生本人の口座に給付します。

※入学手続き時には、入学金および授業料等を含む入学諸費用は、所定の金額を各自で納入してください。

【日本学生支援機構奨学金（貸与・給付）】

この奨学金は、経済的理由により修学に困難があり、人物・学業ともに優れた学生に対し貸与・給付されます。貸与終了後は返還の義務が生じ、毎月決められた金額を返還していくことになります。

(1) 奨学金の種類

内 容				条 件	募集時期
第一種奨学金 (無利子貸与型) 〈月額〉		最高月額以外の月額	最高月額 (利用には条件があります)	経済的理由により修学に困難で優れた学生であると認められる人	4 月 上旬
	自 宅	20,000円, 30,000円, 40,000円	53,000円		
	自宅外	20,000円, 30,000円, 40,000円, 50,000円	60,000円		
第二種奨学金 (有利子貸与型) 〈月額〉		2 万円～ 12 万円の中から 1 万円単位で希望額を選択		経済的理由により修学に困難で優れた学生であると認められる人	4 月 上旬
給付型奨学金 〈月額〉	自 宅	9,600円～38,300円（世帯収入や資産要件によって金額は異なる）		学ぶ意欲があり、学力基準や世帯収入、資産の要件を満たしている学生	4 月 上旬
	自宅外	19,000円～75,800円（世帯収入や資産要件によって金額は異なる）			

(2) 採用の種類

「定期採用」「緊急・応急採用」の2つがあり、募集時期が異なります。

①定期採用

原則、毎年4月に本校で奨学生の募集を行います。

※予約採用…高等学校在学中に、予約する制度もあります。詳しくは、在学している高等学校へ問い合わせてください。

②緊急採用・応急採用

家計支持者（父母、または父母に代わって家計を支えている人）の失業、破産、事故、病气もしくは死亡等または火災、風水害等の災害等により家計が急変し、奨学金を緊急に必要とする学生を対象とするものです。

随時募集を行っています（ただし、家計が急変してから3ヶ月以内に申し込む必要があります）。

【国の教育ローン（日本政策金融公庫）】

入学金，授業料，教科書代，アパートの敷金・家賃など，入学時や在学中に必要とされる資金を融資する公的な制度として，「国の教育ローン」があります。

融 資 額	学生 1 人につき350万円以内（一定の要件を満たす場合上限450万円）
返 済 期 間	18年以内（交通遺児家庭・母子家庭または父子家庭の方は18年以内）
元金据置期間	在学期間内（元金据置期間は返済期間に含まれます）
利 率	年2.65%（母子家庭等の方は左記利率の▲0.4%）固定金利（金利は金融情勢によって変動することがあります。）
保 証	（公財）教育資金融資保証基金

お申込みに関するご相談は…教育ローンコールセンター

〈営業時間（月～金）9時～19時 ※土日祝日，年末年始は除く〉

TEL 0570-008656 〈全国から市内通話料でご利用いただけます〉

※ご利用いただけない場合（公衆電話・IP電話・PHS・CATV電話など）は，

TEL 03-5321-8656 までおかけ直してください。

そのほか【あしなが育英会】・【（財）交通遺児育英会】の奨学金があります。

18. 学生寮

本校には，下表のとおり学生寮があります。

学生寮は，アパート等の一人暮らしとは異なり，安全・安心を確保しつつ自主性・社会性を培い，人間形成に資する場として設置しています。遠隔地出身の学生のみならず，徳島県内の学生も多数入居しています。

学生寮の概要

鹿背山（かせやま）寮 <男子棟・女子棟>

所 在 地	徳島県勝浦郡勝浦町大字三溪字中村 95-1
入 寮 定 員 数	112 名
寮 タ イ プ	個室
入 寮 期 間	原則修業年限
室 内 設 備	ユニットバス，ミニキッチン（IH 調理器），電気温水器，押入れ，冷暖房エアコン，インターネット回線（Wi-Fi）
共 用 施 設	コインランドリー，学習室

諸経費

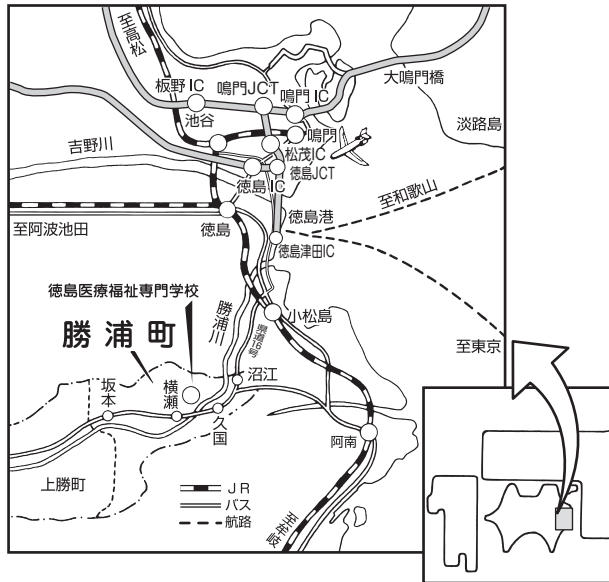
入寮金	30,000 円
エアコンリース料（年額）	10,000 円
寮費（月額）	30,000 円
共益費（月額）	1,000 円（インターネット回線料，水道代含む）
駐車場使用料（月額）	2,000 円（自動車のみ）

19. スクールバス

スクールバスは JR 徳島駅と本校との間（JR 中田駅経由）で朝夕各一便運行しています。自己負担金は年額 12 万円です。

20. 本校及び地方試験会場案内

(1) 本 校



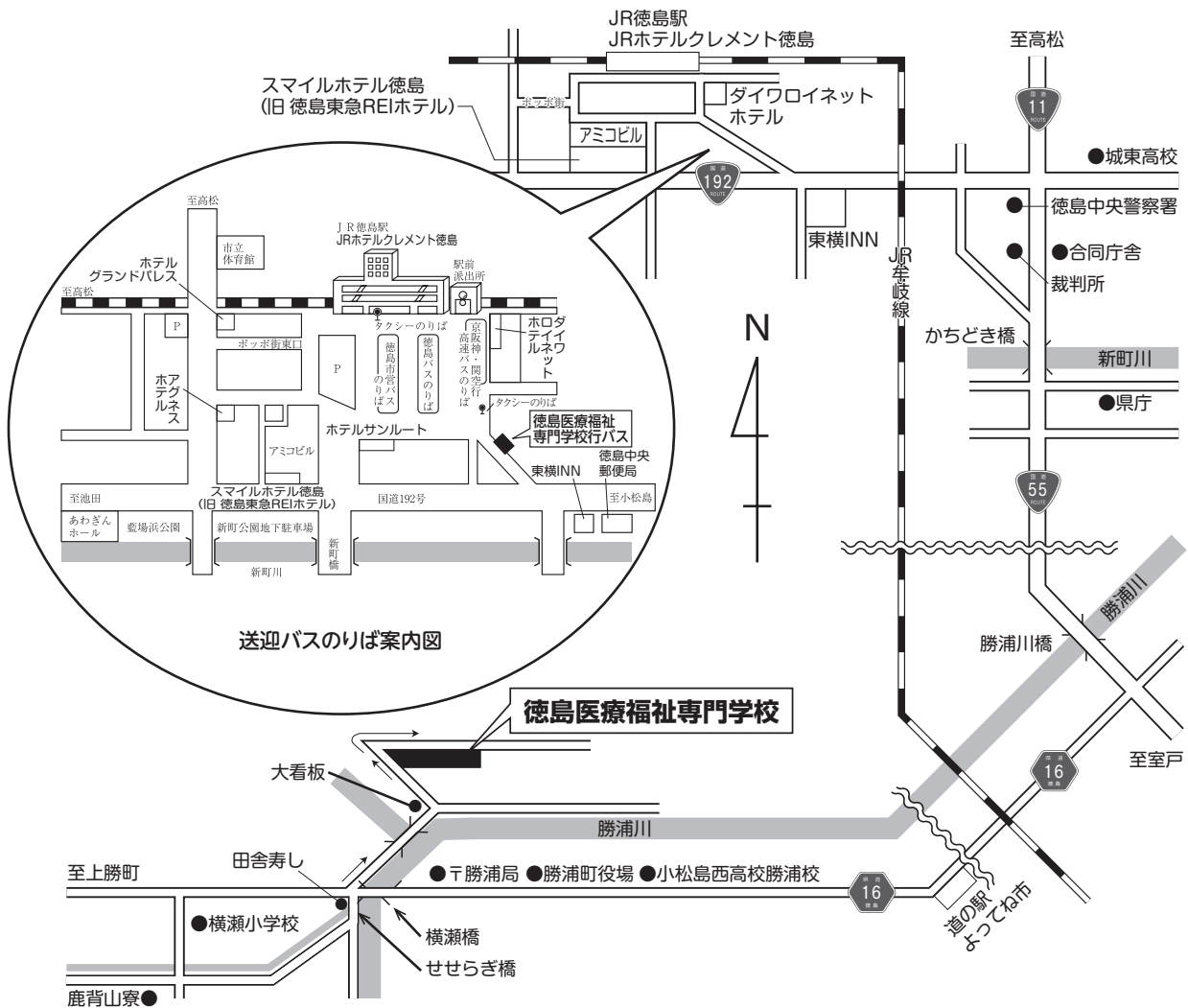
■本校への交通案内

●車の場合

高松自動車道，神戸・淡路鳴門自動車道，徳島自動車道から徳島JCTを経て，徳島南部自動車道の徳島津田ICへ。一般道に出て国道55号線を南下，勝浦川橋を渡って右折，県道16号線を勝浦町へ，横瀬橋を渡って右折，大看板で左折。徳島津田ICから約35分。

●バス利用の場合

JR徳島駅から徳島バス勝浦線を利用，約1時間で勝浦町へ。バス停横瀬東下車徒歩5分。



(2) 地方試験会場

社会人・公募制・指定校推薦入試

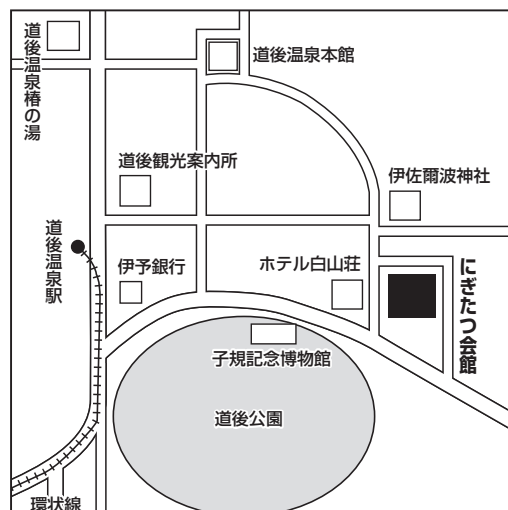
高松市会場

レグザムホール（大ホール棟5F）
香川県高松市玉藻町9-10
TEL 087-823-3131
（JR 高松駅より徒歩8分）



松山市会場

にぎたつ会館（3F）
愛媛県松山市道後姫塚118-2
TEL 089-941-3939
（伊予鉄道 路面電車「道後温泉駅」下車 徒歩5分）



21. 県外からの受験者への交通費補助

徳島県以外の高校の在学者又は現に徳島県以外に居住する者が、本校で受験する場合、交通費補助金を受験者1名につき1万円支給します。年度内2回までとし、付添者には支給しません。なお、該当者は入学願書の記載内容により判断しますので申し込みは不要です。詳しくは、入試事務局までお問い合わせください。

徳島医療福祉専門学校 入学願書

※ 受 付

年 月 日

入 試 区 分	社会人推薦 ・ 公募制推薦 ・ 指定校推薦 ・ 一般一次 一般二次 ・ 一般三次 ・ 一般四次			カラー写真貼付 (全面のり付け) 1. 上半身・脱帽で最近3ヶ月以内の撮影 2. サイズは4cm×3cm 3. 写真裏面に氏名を明記
志 望 学 科 (注2)	第1志望	療法学科	第2志望 左記第1志望学科でない学科	
希望試験会場 (注4)	社会人 ・ 公募制 ・ 指定校推薦入試出願のとき 本校 ・ 高松市会場 ・ 松山市会場			

志 願 者	フリガナ			※	
	氏 名	男・女		受験番号	
		年 月 日 生			
	住 所 (受信場所) (注3)	(〒 -) 本人携帯 自宅又は保護者携帯 都・道 府・県			
	学 歴	国・市 県・私 立	高 等 学 校 中等教育学校 科	年 月 日 卒業・卒業見込	
		高等学校卒業程度認定試験		年 月 日 合格	
国・市 県・私 立		大学・短期大学 高等専門学校 専 門 学 校	年 月 日 卒業・卒業見込・中退		
職 歴					

本年度これまでに 出願した入試区分を ○で囲んでください	社会人推薦 ・ 公募制推薦 一般一次 ・ 一般二次 ・ 一般三次
------------------------------------	-------------------------------------

- 〈注〉
- 該当するものを○で囲んでください。
 - 志望学科の第2志望については、第1志望が理学であれば作業、第1志望が作業であれば理学となります。ただし、指定校推薦は第1志望のみです。
 - 住所は番地・マンション名、室番号まで正しく記入してください。
 - 一般一次、二次、三次、四次入試の試験会場は本校です。
 - ※印の欄には記入しないでください。

徳島医療福祉専門学校 入学願書

※ 受 付

年 月 日

入 試 区 分	社会人推薦 ・ 公募制推薦 ・ 指定校推薦 ・ 一般一次 一般二次 ・ 一般三次 ・ 一般四次			カラー写真貼付 (全面のり付け) 1. 上半身・脱帽で最近3ヶ月以内の撮影 2. サイズは4cm×3cm 3. 写真裏面に氏名を明記
志 望 学 科 (注2)	第1志望	療法学科	第2志望 左記第1志望学科でない学科	
希望試験会場 (注4)	社会人 ・ 公募制 ・ 指定校推薦入試出願のとき 本校 ・ 高松市会場 ・ 松山市会場			

志 願 者	フリガナ			※	
	氏 名	男・女		受験番号	
		年 月 日 生			
	住 所 (受信場所) (注3)	(〒 -) 本人携帯 自宅又は保護者携帯 都・道 府・県			
	学 歴	国・市 県・私 立	高 等 学 校 中等教育学校 科	年 月 日 卒業・卒業見込	
		高等学校卒業程度認定試験		年 月 日 合格	
国・市 県・私 立		大学・短期大学 高等専門学校 専 門 学 校	年 月 日 卒業・卒業見込・中退		
職 歴					

本年度これまでに 出願した入試区分を ○で囲んでください	社会人推薦 ・ 公募制推薦 一般一次 ・ 一般二次 ・ 一般三次
------------------------------------	-------------------------------------

- 〈注〉
- 該当するものを○で囲んでください。
 - 志望学科の第2志望については、第1志望が理学であれば作業、第1志望が作業であれば理学となります。ただし、指定校推薦は第1志望のみです。
 - 住所は番地・マンション名、室番号まで正しく記入してください。
 - 一般一次、二次、三次、四次入試の試験会場は本校です。
 - ※印の欄には記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

00		徳島																																	
		口		座		記		号		番		号				金額		千	百	十	万	千	百	十	円										
0		1		6		6		0		0				1		1		0		2		3				2		5		0		0		0	
加入者名		学校法人 勝浦学園														料金				備考															
※		志願者氏名 _____ 検定料 _____ 〒 _____ おところ _____ おなまえ _____																																	
ご依頼人・通信欄		(ご連絡先電話番号 _____)														様		日		附		印													
各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。		ご依頼人欄、おところ・おなまえをご記入ください。(承認番号 大第 62819 号)																																	
		これより下部には何も記入しないでください。																																	

記載事項を訂正した場合は、その箇所^①に訂正印を押してください。
切り取らないでお出ください。

口座 記号 番号	0		1		6		6		0		0	
加入者名 学校法人 勝浦学園												
金 額	千		百		十		万		千		円	
							2		5		0	
ご 依 頼 人	おなまえ 様											
	様											
料 金	(消費税込み)				日 附 印							
	円											
備 考												

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込請求書兼受領証

00		徳島		口 座 記 号 番 号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円											
0		1		6		6		0		0				1		1		0		2		3		金額				2	5	0	0	0	
加入者名				学校法人 勝浦学園																			料金				備考						
※				志願者氏名 _____ 検定料 _____ 〒 _____ おところ _____ おなまえ _____																			様	日	附	印							
(ご連絡先電話番号				- - -)																													
ご依頼欄に、おところ・おなまえをご記入ください。(承認番号 大第 62819 号)																																	
これより下部には何も記入しないでください。																																	

記載事項を訂正した場合は、その箇所^①に訂正印を押してください
切り取らないでお出ください。

口座 記号番号	01660—0								
	11023								
加入者名	学校法人 勝浦学園								
金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
				2	5	0	0	0	
ご依頼人	おなまえ 様								
料金	(消費税込み)				日 附 印				
	円								
備考									

この受領証は、大切に保管してください。

<記入例>

払込取扱票		00 徳島												
口 0	庫 6	記 6	号 0	番 1	号 1	千 0	百 2	万 3	金 額	千 2	百 5	十 0	円 0	
学校法人 勝浦学園										金額				備考

①

志願者氏名 _____

検定料 _____

〒 _____
おこころ _____
おなまえ _____

様

(ご連絡先電話番号) _____

②

日 附 印

様

と依頼人欄に、おところ・おなまえをご記入ください。(承認番号 大第 62819 号)
これより下部には何も記入しないでください。

記入する内容

- ①…志願者の氏名を記入
- ②…依頼人の住所・氏名・
電話番号を記入
- ③…依頼人の氏名を記入
※依頼人は志願者本人以外でも構いません。

- (ご注意)
- この用紙は、ゆうちょ通帳アプリおよびゆうちょ銀行・郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
 - この用紙は、機械で読み取りますので、口座記号番号および金額を記入する際は、枠内にはっきりとご記入ください。
 - また、用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 - 払込みの際、法令等に基づき、依頼人様（および代理人様）の運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
 - この用紙による払込料金は、ご依頼人にお支払いいただきます。
 - この用紙の通信欄・ご依頼人に記載されたおところ・おなまえ等は、加入者様に通知されます。
 - この受領証は、払込みの証拠となるものです。大切に保管してください。
 - なお、備考欄に「口座払」の印字をしたものは、通常貯金口座から指定口座への払込みが行われたものです。
 - この用紙をゆうちょ銀行または郵便局にお預けになるときは、引き換えに「預り証」を、必ずお受け取りください。



(2024.1)

- (ご注意)
- この用紙は、ゆうちょ通帳アプリおよびゆうちょ銀行・郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
 - この用紙は、機械で読み取りますので、口座記号番号および金額を記入する際は、枠内にはっきりとご記入ください。
 - また、用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 - 払込みの際、法令等に基づき、依頼人様（および代理人様）の運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
 - この用紙による払込料金は、ご依頼人にお支払いいただきます。
 - この用紙の通信欄・ご依頼人に記載されたおところ・おなまえ等は、加入者様に通知されます。
 - この受領証は、払込みの証拠となるものです。大切に保管してください。
 - なお、備考欄に「口座払」の印字をしたものは、通常貯金口座から指定口座への払込みが行われたものです。
 - この用紙をゆうちょ銀行または郵便局にお預けになるときは、引き換えに「預り証」を、必ずお受け取りください。



(2024.1)

(A) 写真票

※受験番号			
入 試 区 分	☐ 社会人推薦	希 望 試 験 会 場	社会人・公募制・ 指定校推薦出願のとき
	☐ 公募制推薦		
	☐ 指定校推薦		
	☐ 一般一次		☐ 本校
	☐ 一般二次		☐ 高松市会場
	☐ 一般三次		☐ 松山市会場
☐ 一般四次			
第1志望学科		☐ 理学療法学科 ☐ 作業療法学科	
フリガナ			
本人氏名			
カラー写真貼付 (全面のり付け) 1. 写真は上半身・脱帽で最近3ヶ月以内の撮影 2. 写真は4cm×3cm 3. 写真裏面に氏名を明記 本 校 用			
徳島医療福祉 専門学校			

- 〈注〉1. 該当事項に☑をつけてください。
2. 一般一次、二次、三次、四次入試の試験会場は、本校です。
3. ※印の欄には、記入しないでください。

(B) 受験票

※受験番号			
入 試 区 分	☐ 社会人推薦	希 望 試 験 会 場	社会人・公募制・ 指定校推薦出願のとき
	☐ 公募制推薦		
	☐ 指定校推薦		
	☐ 一般一次		☐ 本校
	☐ 一般二次		☐ 高松市会場
	☐ 一般三次		☐ 松山市会場
☐ 一般四次			
第1志望学科		☐ 理学療法学科 ☐ 作業療法学科	
フリガナ			
本人氏名			
1. 本票は試験中必ず携帯し、学科試験中は机上に置いてください。 2. 本票は面接時に必ず携行してください。 3. 本票の再発行はできません。			
徳島医療福祉 専門学校			

- 〈注〉1. 該当事項に☑をつけてください。
2. 一般一次、二次、三次、四次入試の試験会場は、本校です。
3. ※印の欄には、記入しないでください。

切り離さないこと

(A) 写真票

※受験番号			
入 試 区 分	☐ 社会人推薦	希 望 試 験 会 場	社会人・公募制・ 指定校推薦出願のとき
	☐ 公募制推薦		
	☐ 指定校推薦		
	☐ 一般一次		☐ 本校
	☐ 一般二次		☐ 高松市会場
	☐ 一般三次		☐ 松山市会場
☐ 一般四次			
第1志望学科		☐ 理学療法学科 ☐ 作業療法学科	
フリガナ			
本人氏名			
カラー写真貼付 (全面のり付け) 1. 写真は上半身・脱帽で最近3ヶ月以内の撮影 2. 写真は4cm×3cm 3. 写真裏面に氏名を明記 本 校 用			
徳島医療福祉 専門学校			

- 〈注〉1. 該当事項に☑をつけてください。
2. 一般一次、二次、三次、四次入試の試験会場は、本校です。
3. ※印の欄には、記入しないでください。

(B) 受験票

※受験番号			
入 試 区 分	☐ 社会人推薦	希 望 試 験 会 場	社会人・公募制・ 指定校推薦出願のとき
	☐ 公募制推薦		
	☐ 指定校推薦		
	☐ 一般一次		☐ 本校
	☐ 一般二次		☐ 高松市会場
	☐ 一般三次		☐ 松山市会場
☐ 一般四次			
第1志望学科		☐ 理学療法学科 ☐ 作業療法学科	
フリガナ			
本人氏名			
1. 本票は試験中必ず携帯し、学科試験中は机上に置いてください。 2. 本票は面接時に必ず携行してください。 3. 本票の再発行はできません。			
徳島医療福祉 専門学校			

- 〈注〉1. 該当事項に☑をつけてください。
2. 一般一次、二次、三次、四次入試の試験会場は、本校です。
3. ※印の欄には、記入しないでください。

切り離さないこと

受験者心得

1. この受験票を必ず持参してください。
もし忘れた場合は、係員へ申し出てください。
2. 受験票は机の上に置いてください。
3. 受験票、筆記用具、消ゴムのほかは机の上に置いてはいけません。
4. 手荷物は各自の座席の下に置いてください。
5. 試験開始後30分以内に退室することはできません。
6. スリッパなど上履きは不要です。

受験者心得

1. この受験票を必ず持参してください。
もし忘れた場合は、係員へ申し出てください。
2. 受験票は机の上に置いてください。
3. 受験票、筆記用具、消ゴムのほかは机の上に置いてはいけません。
4. 手荷物は各自の座席の下に置いてください。
5. 試験開始後30分以内に退室することはできません。
6. スリッパなど上履きは不要です。

受験番号	※
------	---

自己推薦書

年 月 日

徳島医療福祉専門学校長 殿

現 住 所

氏 名

記

フリガナ		第1志望学科に○印を記入してください。		理学療法学科
氏 名	男・女 年 月 日 生			作業療法学科
自己推薦する理由				

(注) ※印の欄には、記入しないでください。

受験番号	※
------	---

推薦書

年 月 日

徳島医療福祉専門学校長 殿

高等学校・中等教育学校名

校 長 名 印

下記の者は，人物，学業ともに優れ，リハビリテーション医療に対する強い意欲や熱意をもつので，貴校入学志願者として適当と認め推薦します。

記

フリガナ		第1志望学科に○印を記入してください。		理学療法学科
氏 名	男・女			作業療法学科
	年 月 日 生	卒業(予定)年月日		年 月 日

(注) ※印の欄には，記入しないでください。

受験 番号	※
----------	---

入 学 確 約 書

徳島医療福祉専門学校長 殿

私は、指定校推薦入試に合格した場合、貴校に入学
することを確約します。

年 月 日

住 所

氏 名

生年月日

年 月 日 生

(注) ※印の欄には、記入しないでください。



徳島医療福祉専門学校

〒771-4307 徳島県勝浦郡勝浦町大字三溪字平128番地の1
TEL(0885)42-4810(代)／FAX(0885)42-4815
ホームページ <https://tokushima-iryou.ac.jp/>
E-メール info@tokushima-iryou.ac.jp

